

平成23年2月定例会 代表質問【質問者および質問項目】

質問日 平成23年3月7日(月) 質問者 6名

※質問時間は議員一人あたり45分以内(答弁時間は別)です

発言順位	議員名	会派名	発言事項
1	中島 一廣	草政会	○平成23年度当初予算編成にあたって ・予算編成について ・財政運営について ・行財政システム改革について
			○平成23年度当初予算にかかる重点施策について ・教育の充実について ・子育て支援の充実について ・高齢者福祉の充実について ・市民の健康増進の推進について ・まちづくり基盤整備の推進について ・市民との協働のまちづくりについて
			○平成23年度の執行体制の強化について
			○今後の政治姿勢について
発言順位	議員名	会派名	発言事項
2	大脇 正美	市民派クラブ	○平成23年度政策方針について ・重点施策への戦略的な財源配分とその効果、将来への影響について ・予算編成の思いと将来の姿について ・財政シミュレーションにおける税収入の予測について ・市有財産の利活用、払い下げの考えや方針について ・税収納率アップの具体策とその成果について ・財政健全化に向けての具体的な方針について ・新たな財源について ・平成23年度の特例公債法案や税制改正法案が年度内に成立しない場合の影響について
			○協働のまちづくりについて ・地域住民のコミュニティの希薄化への対応について ・各学区、地区単位の「まちづくり協議会」の自律後の運営について ・公共サービスシステムの概要、構築の時期について ・市民活動団体等の活性化の取り組みについて ・公民館、市民センターの一本化の検討について
			○公共交通体系について ・新たな交通体系の整備について ・市民の交通手段の確保と、「まめバス」やそれに変わる交通機関について
			○災害時要援護者避難支援制度について ・要援護者登録状況について ・要援護者の登録をしない方々への登録推進について ・要援護者の避難支援者が選定できなかった場合の手段について ・要援護者の個人情報の管理と、災害時の個人情報保護について
発言順位	議員名	会派名	発言事項
3	木村 辰巳	新生会	○平成23年度の一般会計当初予算案について ・社会経済情勢をどう捉え、分析し、予算編成に取り組みられたかについて ・財政の健全化に向けた今後の取り組みについて ・強く草津をアピールできる特色ある施策の必要性に対する見解について
			○道徳教育について ・道徳教育がどのようなカリキュラムで取り組まれているかについて ・道徳資料集の整備による児童、生徒達の変化とその成果について
			○水道事業について ・おいしい草津の水の多角的活用に対する見解について

発言順位	議員名	会派名	発言事項
4	清水 正樹	くさつさく	○施政方針について
			○自治体基本条例について ・条例の前文の意義について ・基本条例制定以後について
			○草津市景観条例の制定について ・景観計画基本方針について ・やばせ道の再生と、常夜灯の灯りを灯す事業の提案について
発言順位	議員名	会派名	発言事項
5	久保 秋雄	日本共産党 草津市会議員団	○国民健康保険について ・国保税は収入に比べ負担が重すぎると考えるがどうか ・「広域化」で財政難の国保を寄せ集めても、財政が改善する見込みはないと考えるがどうか ・「広域化をやめよ」との声を上げるべきと考えるが市長の考えは ・国庫負担金を元に戻すことを強く求めていただきたいと考えるが市長の見解は
			○2011年度施政方針について ・ファシリティマネジメントの活用にあたっては、効率一辺倒に陥ることのないようにしていくことが大切と考えるがどうか ・国保税の引き下げと中学校給食の実施というマニフェストの実現についてどう考えているか
			○自治体基本条例について ・条例制定の意図について ・「自治基本条例」から「自治体基本条例」に変更した理由について ・市長の役割に「雇用と地域経済の振興に努める」条文を入れるべきと考えるが市長の見解は
			○保育「子ども子育て新システム」と待機児童の解消について ・「子ども子育て新システム」は困ると、声をあげるべきだと考えるが市長の見解は ・どのように保育の質を守るのかについて ・保育をどうしても必要とする市民にどう応えていくのかについて ・後追いではなく必要な保育所の建設を行うことに対する見解について ・第五保育所の建設前倒しを行い、定員も拡大することに対する見解について
			○地域活性化策としての住宅リフォーム助成制度の導入について ・景気は依然として深刻な状態が続いているが、市長の見解は ・地域経済の活性化を図る住宅リフォーム助成制度の導入について
			○公契約条例の制定について ・人間らしく働くことができる賃金を保障するため、公契約条例を制定すべきと考えるが市長の見解は
			○同和行政の終結について ・「見直し検討委員会」の答申の誠実な実行を求めるが、市長の見解は ・隣保館等運営審議会の審議予定や答申取りまとめの予定について ・早急な同和行政の終結を求めるが、市長の見解は
			○図書館運営について ・懇話会での議論を踏まえて、専門性が問われるカウンター業務は司書が行うことが望ましいと考えるが、市長の見解は

発言順位	議員名	会派名	発言事項
6	西村 隆行	公明党	<p>○景観条例について ・景観行政を具体的にどのように実行されるのかについて</p> <p>○パブリック・コメントについて ・より有効にパブリック・コメント制度を機能させるための取り組みについて</p> <p>○草津市自治体基本条例(素案)について ・検討委員会の住民投票に対する相当数の明記の思いは残すべきだと考えるが、いかがか</p> <p>○草津川跡地対策について ・具体的にどのように考えているか、また、今以上に道路は必要と考えているのかについて</p> <p>○指定管理者制度について ・総務省自治行政局長からの「指定管理者制度の運用について」の通知への対応を伺う</p> <p>○子ども条例について ・子ども家庭部の設置に関して、子ども条例の制定が必要ではないか伺う</p>